

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス あさがお		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 11日		～ 2025年 1月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 17日		～ 2025年 2月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	目的や目標を持った活動内容の計画。	活動計画に関して、指導員間で意見を募り、出た意見をまとめながら、活動ごとに目的を設定し、児童たちが意欲的に活動に取り組めるように、毎週・毎月の活動が固定化されないように配慮している。	児童同士の話し合い活動などを取り入れ、児童達からやってみたい活動の意見を吸い上げ、活動計画に取り入れていけるように、今後は検討していく。
2	保護者からの相談事に対する柔軟な対応。	相談事等に関していつでも対応できる体制を取っている。相談内容を踏まえて、可能な範囲で柔軟に対応できるように配慮している。	困り感や相談内容を踏まえて、面談の実施等を行えるようにしていく。
3	関係機関との情報共有や連携。	相談支援事業所との定期的なモニタリングも行いながら、事業所での児童の様子を見に来ていただく機会を作っている。また、児童に関する情報共有も定期的に行っている。	相談支援事業所を軸に、各種関係機関との連携を深くしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流等の機会が少ない。	戸外での活動で、そこで遊んでいる児童同士で仲良くなる機会はあるが、地域との交流を目的とした計画の作成を行っていない。	周辺地域のお店や関係機関との連携を図り、地域での交流を行う活動や、合同での活動の実施を今後は検討していく。
2	ご利用人数増加に伴い、室内が狭く感じる。	床面積の基準は満たしているが、ご利用人数の増加に伴い、活動スペースが狭く感じる。	児童の活動のスペースが十分に確保できるように、環境設定を行っていく。
3	就学前・進学先・就労先の関係機関との連携が不十分。	相談支援事業所・児童発達支援・放課後等デイサービス等の関係機関との連携は取れているが、就学前(保育園・幼稚園等)・進学先(中学校・高校等)・就労先(就労支援事業所等)との連携については行っていない。	相談支援事業所等の関係機関との連携も変わらず図りながら、必要に応じて、就学前・進学先・就労先の各種関係機関との関わりを作っていく。